

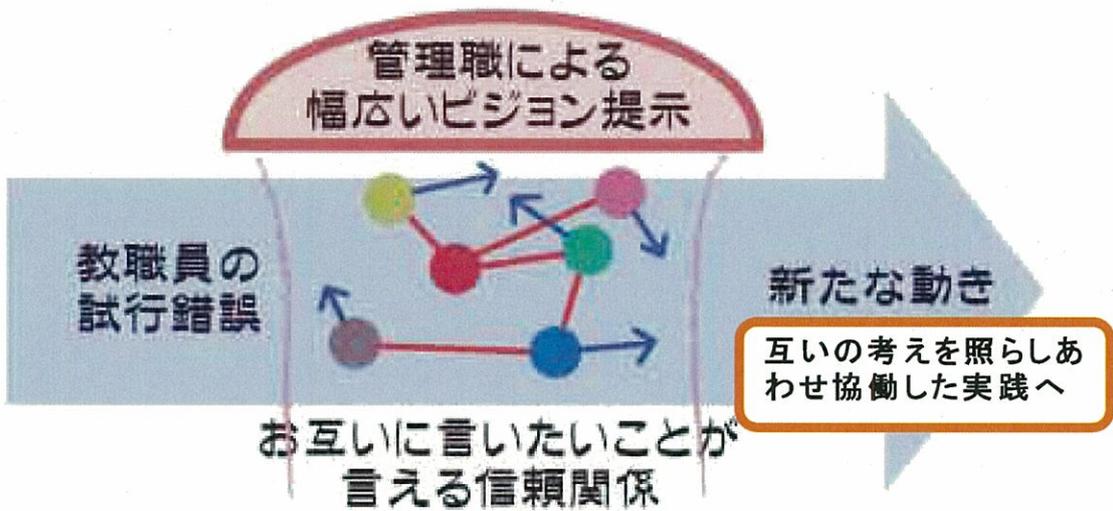
2 目標に向かう意欲・実践力



課題が明確になったら、教職員みんなが学校をよりよくしていこうという意識をもち、目標に向かって行動していくことが求められます。

そのためには、学校経営のビジョンが明確に示され、そのビジョンと教職員一人一人の目標がつながっていることが大切です。

さらに、その実現に向けて前向きな議論が活発に行われ、試行錯誤しながら新たなチャレンジが奨励される中で、「変革力をもった組織」に成長していくことが望まれます。



- 実践への視点**
- a. 学校の使命や将来像が学校内外で共有されているか。
 - b. 学校の方向性を創るときに、教職員の参加を促し、対話を図っているか。
 - c. チームや個人の自律性に基づいた創造的取組を奨励しているか。
 - d. 教職員がめざす学校の姿を共有し、互いの専門性を磨き合っているか。
 - e. 協働を意識して、教職員のコミュニケーションが活発に行われているか。

例:ビジョンの提示と協働性に着目した展開

【ポイント】活発な協議と協働した取組！
児童生徒の実態に根ざした教育課題の共有とめざす姿の明確化

管理職によるビジョンの提示



教職員との協働

学校の教育課題を絞り込む
《焦点化の視点》

- 児童生徒の実態
- 校務分掌や組織運営
- 家庭や地域との協働体制

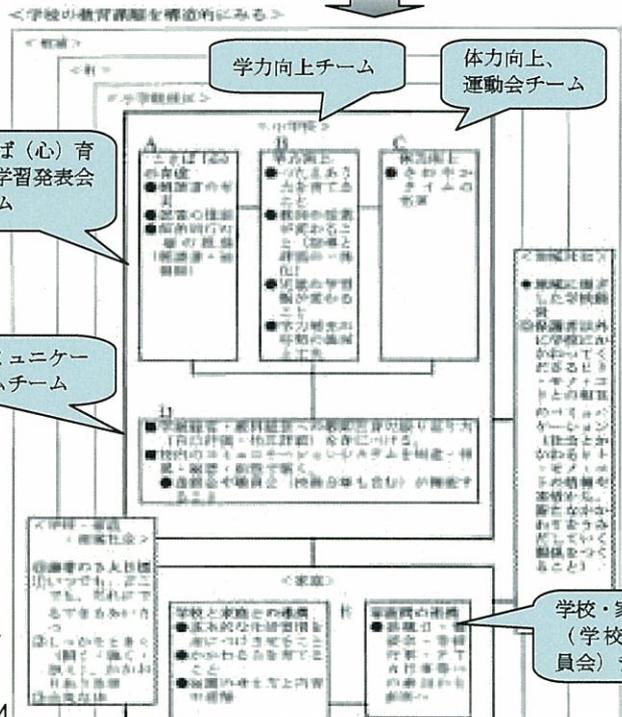
課題解決のための意見を求める
「こんなふうにしたら…」
「こんなことをやってみようと思っていた」
「こんなアイデアでやってみたら…」
といった様々な意見を聞かせてください。

意見をまとめ、学校の教育課題を構造的に見る

プロジェクト立ちあげの工夫
～教職員の自発性を大切に～

- 立候補制によるプロジェクトチーム
- リーダーはグループで決定
- 共通点は本校の教育目標の具現化
- 目標・内容・方法はグループで考案
→職員会で提案
→実践・評価・見直し
- 終われば解散
- メンバーは学校外の方も可能
(校長の了解が必要)
- 呼びかけがあれば校長も参画

校長と教職員の
コミュニケーション



「5つのプロジェクトができました！」
チームで具現化していきましょう！